

浜の活力再生プラン
令和 7～11 年度
第 3 期

1 地域水産業再生委員会

組織名	横島地区地域水産業再生委員会
代表者名	会長 大野 稔 (横島漁業協同組合 代表理事組合長)
再生委員会の構成員	横島漁業協同組合、玉名市
オブザーバー	熊本県北広域本部農林水産部水産課、熊本県漁業協同組合連合会
対象となる地域の範囲及び漁業の種類	熊本県玉名市横島地区 ノリ養殖漁業2名、採貝漁業30名 延べ32名 (令和6年4月時点)

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

<p>横島地区は、熊本県北西部に位置する玉名市の南端の有明海沿岸に位置している。当地区の水産業は海苔養殖業が主力であり、その他にアサリ採貝業、漁船漁業が営まれている。当地区では、赤潮発生等に加え、集中豪雨等の発生の増加により、ゴミ、流木、土砂等が流れ込み、漁場環境の悪化につながっている。</p> <p>海苔養殖業は、海水温の上昇による漁期の短期化や珪藻プランクトン赤潮の発生による色落ちにより生産量の減少が全国的、地域的にも発生しており国内の需要に対して供給が十分でない状況の中、これまでの第1期、第2期の浜プランの取組みの成果や、近年の市場状況(高単価)により令和5年度の生産額は約174百万円、生産枚数は約1,120万枚で単価の上昇により近年の生産額は増加の傾向にある。しかしながら、燃油や資材の高騰や市場状況の影響は大きく、漁業経営は不安定な状況にある。</p> <p>アサリ採貝業は、資源状況がきわめて悪く、第2期中は、漁獲量・生産額がほぼゼロという状況であったが、漁場環境の改善やアサリ等二枚貝の資源回復に取り組んできた結果、近年は稚貝が見られるなど回復の兆しが見えてきているものの、本格的な漁獲ができる状況にまでは至っていない。</p> <p>これらの状況を踏まえ、海苔養殖業・アサリ採貝業を中心とした、所得向上のための各種取組みを進めていく必要がある。</p>
--

(2) その他の関連する現状等

<p>玉名市横島町は、玉名市の南部に位置し、市の中央を流れる菊池川の下流左岸及び有明海沿岸に接している。有明海、菊池川、小岱山などの豊かな自然環境及び干拓などの歴史的遺産が観光の名所となっている。</p> <p>また、熊本都市圏と福岡都市圏の中間に位置し、JR鹿児島本線、九州新幹線、九州縦貫自動車道、有明フェリーなど交通アクセスが整っている。基幹産業は、豊かな自然環境を生かした農業、水産業で、米、麦やイチゴ、トマトなどの施設園芸やアサリ採貝や海苔養殖などが盛んに行われている。人口は、約4,400人で、玉名市全体の約7%を占めているが、近年減少傾向にある。一方、高齢者(65歳以上)の割合は徐々に増加しており、就業者の高齢化や後継者及び新規就業者不足などが課題でありその早急な対策が求められている。</p>

3 活性化の取組方針

(1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

--

(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

<p>1 漁業収入向上の取組</p> <p>【海苔養殖業】</p> <p>①乾海苔取引商社と協議を行い、消費者のニーズに合った製品づくりに努めるとともに、本等級製品作りを促進し、平均単価の向上を図る。</p> <p>②養殖状況及び漁場環境調査により、定期的に海苔葉体のサンプルを採取し、葉体のチェックを行うことで生長具合を把握すると同時に、水温、比重、プランクトン等も情報収集し病気の早期発見に努める。</p> <p>③支柱漁場では、潮位にあわせた適切な網の高さ管理を徹底し適正な養殖管理を行い、また、高性能ノリ刈取船を活用し、作業の効率化や管理を徹底し、安定した生産量の確保及</p>

び品質の向上に努める。

- ④海苔生産者の少数精鋭の利点を活かし、生産者間で話し合い、製品の品質を揃える品質統一と本等級率を高め、併せてなるべく多くのロットの確保により単価の向上を図る。
- ⑤乾ノリ加工段階での異物混入を防ぎ、海苔製造機械の清掃、点検等の衛生管理を徹底して行い取引商社の信頼を向上させ単価の向上につなげる。

【アサリ採貝漁業】

- ①アサリ資源管理協定に基づき、アサリ資源の回復に取り組む。
- ②漁場耕うん等の漁場環境改善や資源回復に取り組む。

2 漁業コスト削減の取組

- ①減速航行と定期的な船底、プロペラ等清掃等の省燃油活動を行い、また省エネ機関導入などによる燃油使用量の削減に努める。
- ②燃油高騰に備え、漁業経営セーフティーネット構築事業への加入を促進する。
- ③省燃費に対応するため、海苔加工施設の改修を促進する。

3 漁村の活性化のための取組

ノリ等の直販を行い、水産物の地産地消及び消費拡大を図る。

(3) 資源管理に係る取組

【ノリ養殖漁業】 ノリ養殖業では、生産者が中心となり、漁場管理計画や行使規則を遵守する。

【アサリ採貝漁業】 県漁業調整規則や委員会指示を遵守するとともに、独自にアサリ資源管理計画を策定し、アサリ採貝の期間短縮や採捕量制限に努める。

(4) 具体的な取組内容

1 年目（令和7年度） 所得向上率（基準年比） 2.04%

漁業収入向上のための取組	<p>【海苔養殖業】</p> <ul style="list-style-type: none">①漁協及び海苔生産者は、乾海苔取引商社と協議を行い、消費者のニーズに合った製品づくりに努めるとともに、本等級製品作りを促進する。②漁協及び海苔生産者は、県及び県漁業協同組合連合会等と協力し、養殖状況及び漁場環境調査により、定期的に海苔葉体のサンプルを採取し、葉体のチェックを行うことで生長具合を把握すると同時に、水温、比重、プランクトン、栄養塩等漁も情報収集する。③海苔生産者は、支柱漁場では、潮位にあわせた適切な網の高さ管理を徹底し適正な養殖管理を行い、また、高性能ノリ刈取船を活用し、作業の効率化や管理を徹底する。④海苔生産者は、少数精鋭の利点を活かし、生産者間で話し合い、製品の品質を揃える品質統一と本等級率を高め、併せてなるべく多くのロットの確保に取り組む。⑤海苔生産者は、乾ノリ加工段階での異物混入を防ぎ、海苔製造機械の清掃、点検等の衛生管理を徹底して行い取引商社の信頼を向上させる。 <p>【アサリ採貝漁業】</p> <ul style="list-style-type: none">①漁協及び採貝漁業者は、海底耕うんや漂着ゴミの収集等、漁場の保全活動(食害生物の除去、ホトトギス貝の除去、堆積物の除去)に取り組むことで、漁場の生産力を向上させ資源量の増大を図る。②漁協及び採貝漁業者は、県等と協力し着底稚貝を生残させるために、各種試験を実施し、漁獲につながるよう検討する。
--------------	--

	③漁協及び採貝漁業者は、県等と協力し稚貝の定着率の高い漁場を見極め、被覆網等を実施し効果的なアサリの資源回復を図る。
漁業コスト削減のための取組	①全ての漁業者が減速航行と定期的な船底、プロペラ等清掃を行い燃油消費量削減に努める。 ②漁協は、燃油の急騰による漁業コストの圧迫に備えるため、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を更に推進する。 ③海苔養殖業者は、海苔加工における漁業コスト削減のために、個々の海苔加工場を断熱材の利用や換気システムの向上等により環境条件を改善することで、乾燥機の燃油消費量を削減する。
漁村の活性化のための取組	漁協及び漁業者は、市や地元の農林水産物直売所と連携し、ノリ等の直販を行い水産物の地産地消及び消費拡大を図る。
活用する支援措置等	水産多面的機能発揮対策事業（国） 浜の活力再生・成長促進交付金（国） 二枚貝資源緊急増殖対策事業（国） 競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国） 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国） 漁業経営セーフティネット構築事業（国） 浜の活力再生加速化支援事業（県） 水産物供給基盤機能保全事業（国）

2年目（令和8年度） 所得向上率（基準年比）4.08%

漁業収入向上のための取組	<p>【海苔養殖業】</p> <p>①漁協及び海苔生産者は、乾海苔取引商社と協議を行い、消費者のニーズに合った製品づくりに努めるとともに、本等級製品作りを促進する。</p> <p>②漁協及び海苔生産者は、県及び県漁業協同組合連合会等と協力し、養殖状況及び漁場環境調査により、定期的に海苔葉体のサンプルを採取し、葉体のチェックを行うことで生長具合を把握すると同時に、水温、比重、プランクトン、栄養塩等漁も情報収集する。</p> <p>③海苔生産者は、支柱漁場では、潮位にあわせた適切な網の高さ管理を徹底し適正な養殖管理を行い、また、高性能ノリ刈取船を活用し、作業の効率化や管理を徹底する。</p> <p>④海苔生産者は、少数精鋭の利点を活かし、生産者間で話し合い、製品の品質を揃える品質統一と本等級率を高め、併せてなるべく多くのロットの確保に取り組む。</p> <p>⑤海苔生産者は、乾ノリ加工段階での異物混入を防ぎ、海苔製造機械の清掃、点検等の衛生管理を徹底して行い取引商社の信頼を向上させる。</p> <p>【アサリ採貝漁業】</p> <p>①漁協及び採貝漁業者は、海底耕うんや漂着ゴミの収集等、漁場の保全活動（食害生物の除去、ホトトギス貝の除去、堆積物の除去）に取り組むことで、漁場の生産力を向上させ資源量の増大を図る。</p> <p>②漁協及び採貝漁業者は、県等と協力し着底稚貝を生残させるために、各種試験を実施し、漁獲につながるよう検討する。</p> <p>③漁協及び採貝漁業者は、県等と協力し稚貝の定着率の高い漁場を見極め、被覆網等を実施し効果的なアサリの資源回復を図る。</p>
漁業コスト削減のための取組	①全ての漁業者が減速航行と定期的な船底、プロペラ等清掃を行い燃油消費量削減に努める。 ②漁協は、燃油の急騰による漁業コストの圧迫に備えるため、漁業経営セ

	<p>ーフティネット構築事業への加入を更に推進する。</p> <p>③海苔養殖業者は、海苔加工における漁業コスト削減のために、個々の海苔加工場を断熱材の利用や換気システムの向上等により環境条件を改善することで、乾燥機の燃油消費量を削減する。</p>
漁村の活性化のための取組	<p>漁協及び漁業者は、市や地元の農林水産物直売所と連携し、ノリ等の直販を行い水産物の地産地消及び消費拡大を図る。</p>
活用する支援措置等	<p>水産多面的機能発揮対策事業（国）</p> <p>浜の活力再生・成長促進交付金（国）</p> <p>二枚貝資源緊急増殖対策事業（国）</p> <p>競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国）</p> <p>水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国）</p> <p>漁業経営セーフティネット構築事業（国）</p> <p>浜の活力再生加速化支援事業（県）</p> <p>水産物供給基盤機能保全事業（国）</p>

3年目（令和9年度） 所得向上率（基準年比） 6.13%

漁業収入向上のための取組	<p>【海苔養殖業】</p> <p>①漁協及び海苔生産者は、乾海苔取引商社と協議を行い、消費者のニーズに合った製品づくりに努めるとともに、本等級製品作りを促進する。</p> <p>②漁協及び海苔生産者は、県及び県漁業協同組合連合会等と協力し、養殖状況及び漁場環境調査により、定期的に海苔葉体のサンプルを採取し、葉体のチェックを行うことで生長具合を把握すると同時に、水温、比重、プランクトン、栄養塩等漁も情報収集する。</p> <p>③海苔生産者は、支柱漁場では、潮位にあわせた適切な網の高さ管理を徹底し適正な養殖管理を行い、また、高性能ノリ刈取船を活用し、作業の効率化や管理を徹底する。</p> <p>④海苔生産者は、少数精鋭の利点を活かし、生産者間で話し合い、製品の品質を揃える品質統一と本等級率を高め、併せてなるべく多くのロットの確保に取り組む。</p> <p>⑤海苔生産者は、乾ノリ加工段階での異物混入を防ぎ、海苔製造機械の清掃、点検等の衛生管理を徹底して行い取引商社の信頼を向上させる。</p> <p>【アサリ採貝漁業】</p> <p>①漁協及び採貝漁業者は、海底耕うんや漂着ゴミの収集等、漁場の保全活動（食害生物の除去、ホトトギス貝の除去、堆積物の除去）に取り組むことで、漁場の生産力を向上させ資源量の増大を図る。</p> <p>②漁協及び採貝漁業者は、県等と協力し着底稚貝を生残させるために、各種試験を実施し、試験結果をとりまとめ漁獲につながる対策を計画する。</p> <p>③漁協及び採貝漁業者は、県等と協力し稚貝の定着率の高い漁場を見極め、被覆網等を実施し効果的なアサリの資源回復を図る。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>①全ての漁業者が減速航行と定期的な船底、プロペラ等清掃を行い燃油消費量削減に努める。</p> <p>②漁協は、燃油の急騰による漁業コストの圧迫に備えるため、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を更に推進する。</p> <p>③海苔養殖業者は、海苔加工における漁業コスト削減のために、個々の海苔加工場を断熱材の利用や換気システムの向上等により環境条件を改善することで、乾燥機の燃油消費量を削減する。</p>

漁村の活性化のための取組	漁協及び漁業者は、市や地元の農林水産物直売所と連携し、ノリ等の直販を行い水産物の地産地消及び消費拡大を図る。
活用する支援措置等	水産多面的機能発揮対策事業（国） 浜の活力再生・成長促進交付金（国） 二枚貝資源緊急増殖対策事業（国） 競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国） 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国） 漁業経営セーフティネット構築事業（国） 浜の活力再生加速化支援事業（県） 水産物供給基盤機能保全事業（国）

4年目（令和10年度） 所得向上率（基準年比）8.17%

漁業収入向上のための取組	<p>【海苔養殖業】</p> <p>①漁協及び海苔生産者は、乾海苔取引商社と協議を行い、消費者のニーズに合った製品づくりに努めるとともに、本等級製品作りを促進する。</p> <p>②漁協及び海苔生産者は、県及び県漁業協同組合連合会等と協力し、養殖状況及び漁場環境調査により、定期的に海苔葉体のサンプルを採取し、葉体のチェックを行うことで生長具合を把握すると同時に、水温、比重、プランクトン、栄養塩等漁も情報収集する。</p> <p>③海苔生産者は、支柱漁場では、潮位にあわせた適切な網の高さ管理を徹底し適正な養殖管理を行い、また、高性能ノリ刈取船を活用し、作業の効率化や管理を徹底する。</p> <p>④海苔生産者は、少数精鋭の利点を活かし、生産者間で話し合い、製品の品質を揃える品質統一と本等級率を高め、併せてなるべく多くのロットの確保に取り組む。</p> <p>⑤海苔生産者は、乾ノリ加工段階での異物混入を防ぎ、海苔製造機械の清掃、点検等の衛生管理を徹底して行い取引商社の信頼を向上させる。</p> <p>【アサリ採貝漁業】</p> <p>①漁協及び採貝漁業者は、海底耕うんや漂着ゴミの収集等、漁場の保全活動（食害生物の除去、ホトトギス貝の除去、堆積物の除去）に取り組むことで、漁場の生産力を向上させ資源量の増大を図る。</p> <p>②漁協及び採貝漁業者は、県等と協力し着底稚貝を生残させるために、関係機関と調整を図り対策の試行を行う。</p> <p>③漁協及び採貝漁業者は、県等と協力し稚貝の定着率の高い漁場を見極め、被覆網等を実施し効果的なアサリの資源回復を図る。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>①全ての漁業者が減速航行と定期的な船底、プロペラ等清掃を行い燃油消費量削減に努める。</p> <p>②漁協は、燃油の急騰による漁業コストの圧迫に備えるため、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を更に推進する。</p> <p>③海苔養殖業者は、海苔加工における漁業コスト削減のために、個々の海苔加工場を断熱材の利用や換気システムの向上等により環境条件を改善することで、乾燥機の燃油消費量を削減する。</p>
漁村の活性化のための取組	漁協及び漁業者は、市や地元の農林水産物直売所と連携し、ノリ等の直販を行い水産物の地産地消及び消費拡大を図る。
活用する支援措置等	水産多面的機能発揮対策事業（国） 浜の活力再生・成長促進交付金（国） 二枚貝資源緊急増殖対策事業（国）

	競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国） 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国） 漁業経営セーフティネット構築事業（国） 浜の活力再生加速化支援事業（県） 水産物供給基盤機能保全事業（国）
--	--

5年目（令和11年度） 所得向上率（基準年比）10.21%

漁業収入向上のための取組	<p>【海苔養殖業】</p> <p>①漁協及び海苔生産者は、乾海苔取引商社と協議を行い、消費者のニーズに合った製品づくりに努めるとともに、本等級製品作りを促進する。</p> <p>②漁協及び海苔生産者は、県及び県漁業協同組合連合会等と協力し、養殖状況及び漁場環境調査により、定期的に海苔葉体のサンプルを採取し、葉体のチェックを行うことで生長具合を把握すると同時に、水温、比重、プランクトン、栄養塩等漁も情報収集する。</p> <p>③海苔生産者は、支柱漁場では、潮位にあわせた適切な網の高さ管理を徹底し適正な養殖管理を行い、また、高性能ノリ刈取船を活用し、作業の効率化や管理を徹底する。</p> <p>④海苔生産者は、少数精鋭の利点を活かし、生産者間で話し合い、製品の品質を揃える品質統一と本等級率を高め、併せてなるべく多くのロットの確保に取り組む。</p> <p>⑤海苔生産者は、乾ノリ加工段階での異物混入を防ぎ、海苔製造機械の清掃、点検等の衛生管理を徹底して行い取引商社の信頼を向上させる。</p> <p>【アサリ採貝漁業】</p> <p>①漁協及び採貝漁業者は、海底耕うんや漂着ゴミの収集等、漁場の保全活動（食害生物の除去、ホトトギス貝の除去、堆積物の除去）に取り組むことで、漁場の生産力を向上させ資源量の増大を図る。</p> <p>②漁協及び採貝漁業者は、県等と協力し着底稚貝を生残させるために、対策を行う。</p> <p>③漁協及び採貝漁業者は、県等と協力し稚貝の定着率の高い漁場を見極め、被覆網等を実施し効果的なアサリの資源回復を図る。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>①全ての漁業者が減速航行と定期的な船底、プロペラ等清掃を行い燃油消費量削減に努める。</p> <p>②漁協は、燃油の急騰による漁業コストの圧迫に備えるため、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を更に推進する。</p> <p>③海苔養殖業者は、海苔加工における漁業コスト削減のために、個々の海苔加工場を断熱材の利用や換気システムの向上等により環境条件を改善することで、乾燥機の燃油消費量を削減する。</p>
漁村の活性化のための取組	<p>漁協及び漁業者は、市や地元の農林水産物直売所と連携し、ノリ等の直販を行い水産物の地産地消及び消費拡大を図る。</p>
活用する支援措置等	<p>水産多面的機能発揮対策事業（国） 浜の活力再生・成長促進交付金（国） 二枚貝資源緊急増殖対策事業（国） 競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国） 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国） 漁業経営セーフティネット構築事業（国） 浜の活力再生加速化支援事業（県） 水産物供給基盤機能保全事業（国）</p>

(5) 関係機関との連携

取組の効果が十分に発揮されるよう行政（熊本県、玉名市）、系統団体（熊本県漁業協同組合連合会、熊本県漁業共済組合等）との連携を強固にするとともに、県内外のアサリ商社、海苔商社、地元の農林水産物直売所とも連携を図る。

(6) 取組の評価・分析の方法・実施体制

当地域の基準年算出をした中核的漁業者の参画の下、取組の振り返りを毎年行い、その後、再生委員会において、報告、評価・分析を行う。

4 目標

(1) 所得目標

漁業者の所得の 向上10%以上	基準年	
	目標年	

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

(3) 所得目標以外の成果目標

① 所得向上の取組に係る成果目標

海苔の平均単価の向上	基準年	令和元年度から 令和5年度5中3 平均：	12.75	円
	目標年	令和11年度：	12.88	円

② 漁村活性化の取組に係る成果目標

農林水産物直売所における水産物の販売活動の回数	基準年	令和元年度から 令和5年度の平均：	1	回/年
	目標年	令和7年度から 令和11年度の平均：	2	回/年

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

<p>1. 所得向上の取組に係る成果目標（海苔の平均単価） これまでの実績（令和元年度から令和5年度の5ヶ年の5中3平均）を基準年とし、今後、さらなる品質の向上及びブランド強化に取り組み、基準年より平均単価を1.0%向上させる 12.88円を目標とする。</p> <p>2. 漁村活性化の取組に係る成果目標 （農林水産物直売所における水産物の販売活動の回数） これまでの実績（令和元年度から令和5年度の5ヶ年の平均）を基準年とし、今後、農林水産物直売所にて、水産物の販売活動に積極的に取り組むことから、今期プランの5年間における平均実施回数2回/年を目標とする。</p>

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
水産多面的機能発揮対策事業（国）	干潟等の保全活動（漁場耕うん、稚貝放流等）により、漁獲量を増大する。
浜の活力再生・成長促進交付金（国）	共同利用施設の整備、水産資源の管理・維持増大、漁港漁場の機能高度化や防災・減災対策に必要な整備等を行い、漁業所得の向上及び漁村地域の活性化を図る。
二枚貝資源緊急増殖対策事業（国）	二枚貝資源を増大させる手法を確立し漁業所得の向上を図る。
競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国）	省エネ機器（漁船エンジン、海苔全自動乾燥機）を導入することで、燃油消費量を削減し漁業経費を抑える。
水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国）	漁船の更新・改修等を進めることにより、漁労作業の負担軽減や労働時間の削減等の省力化を図る。
漁業経営セーフティネット構築事業（国）	燃油高騰による経費増加に備え、漁業経費の増加抑制に資する。
浜の活力再生加速化支援事業（県）	稼げる水産業や活力ある漁村の実現を図るための視察、直販、PR活動を実施する。
水産物供給基盤機能保全事業（冠水対策事業）（国）	漁港施設の維持、保全及び運営（漁業者の利便性の向上）に取り組み、漁港施設の長寿命化を図る。